



# 第15回 健康・医療戦略参与会合

2018年5月17日

日本製薬工業協会 会長

畑中 好彦

# I. さらなる健康・医療の推進に向けて

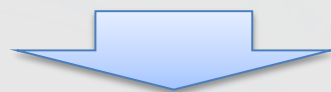
昨年度における創薬関連の成果事例

## 創薬支援ネットワーク

- 新たな疾患治療薬の候補化合物が**製薬企業に2件導出**
- **民間リソースを有機的に結び付けた創薬支援推進ユニットが整備**

## バイオリジクス研究・トレーニングセンター

- 製造技術開発・人材育成活動の**拠点が産官学により設立**

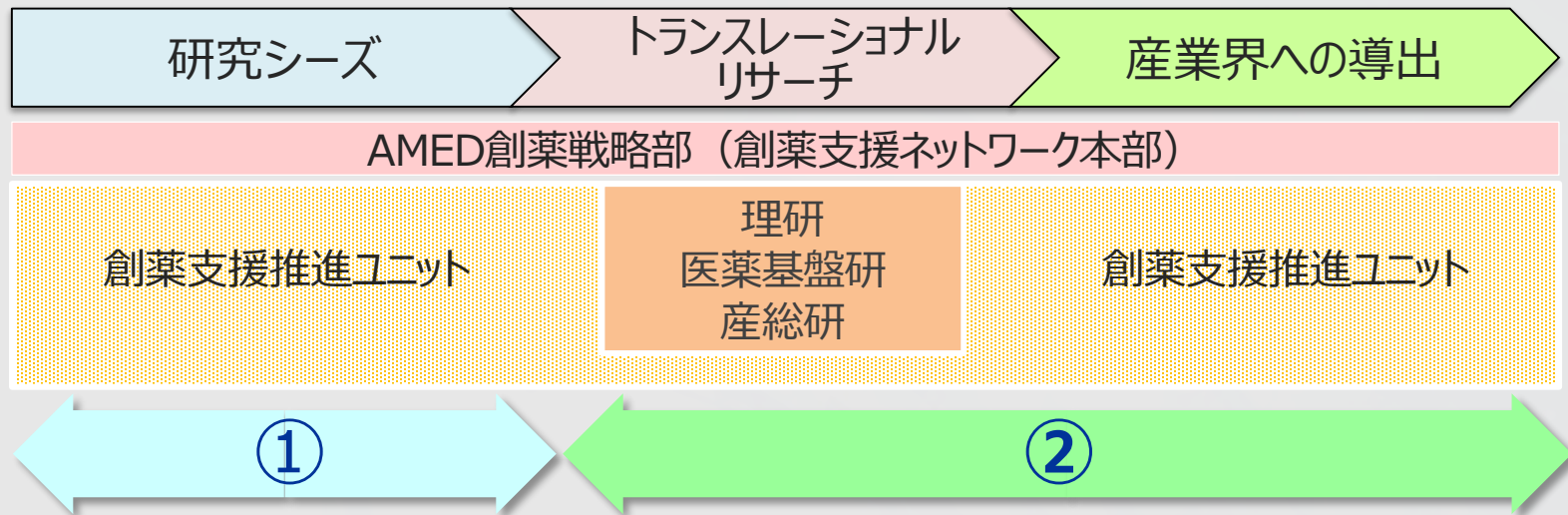


健康・医療へのさらなる国民のニーズに応えるため、健康・医療戦略の見直しも含め、医療分野の研究開発の一層の推進・強化に期待する

- 日本の創薬力強化に向けたアカデミア基礎研究の活性化・創薬支援の強化
- 創薬確度の飛躍的向上に資する人工知能の開発
- デジタルヘルス、予防・先制医療等を見据えた医療周辺産業との連携支援

# II-1. 日本の創薬力強化に向けた基礎研究の活性化・創薬支援機能の強化

基礎研究の活性化による研究シーズの高質化、創薬支援機能の強化によるシーズ育成の加速化、ならびに実用化への移行促進



産官学の連携によって日本発の革新的新薬の創出を進めることが喫緊の課題

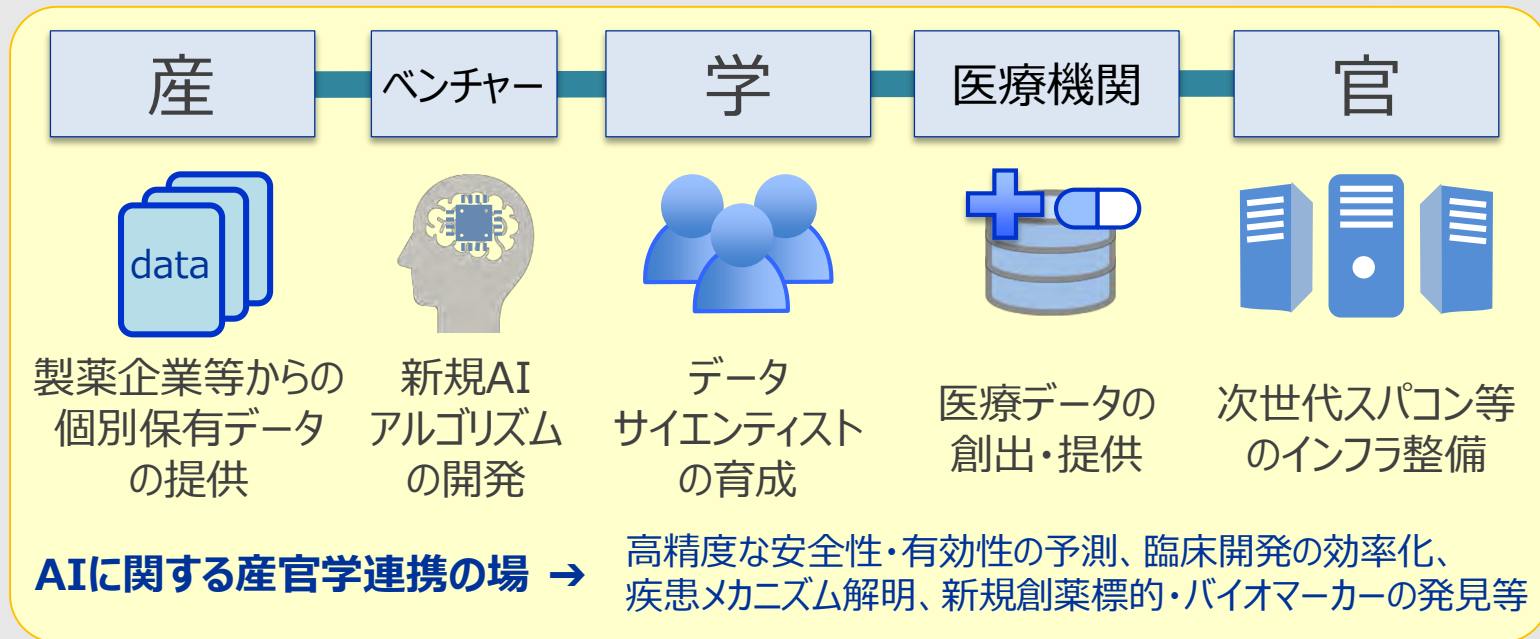
## ① 研究シーズ高質化の推進

- 幅広いアカデミアへの研究予算配布、インセンティブ付与等
- 目利き能力の向上による採択プロジェクトの高質化
- 産官学連携をより推進する新たなプラットフォームの構築

## ② 起業・VC導出支援も含めた総合的ベンチャー支援策のさらなる促進

## II-2. 創薬確度の飛躍的向上に資する 人工知能(AI)の開発

世界をリードする創薬イノベーションの実現に向けた国家的戦略として、  
AIの開発をオールジャパンで進める産官学の連携・推進体制の構築

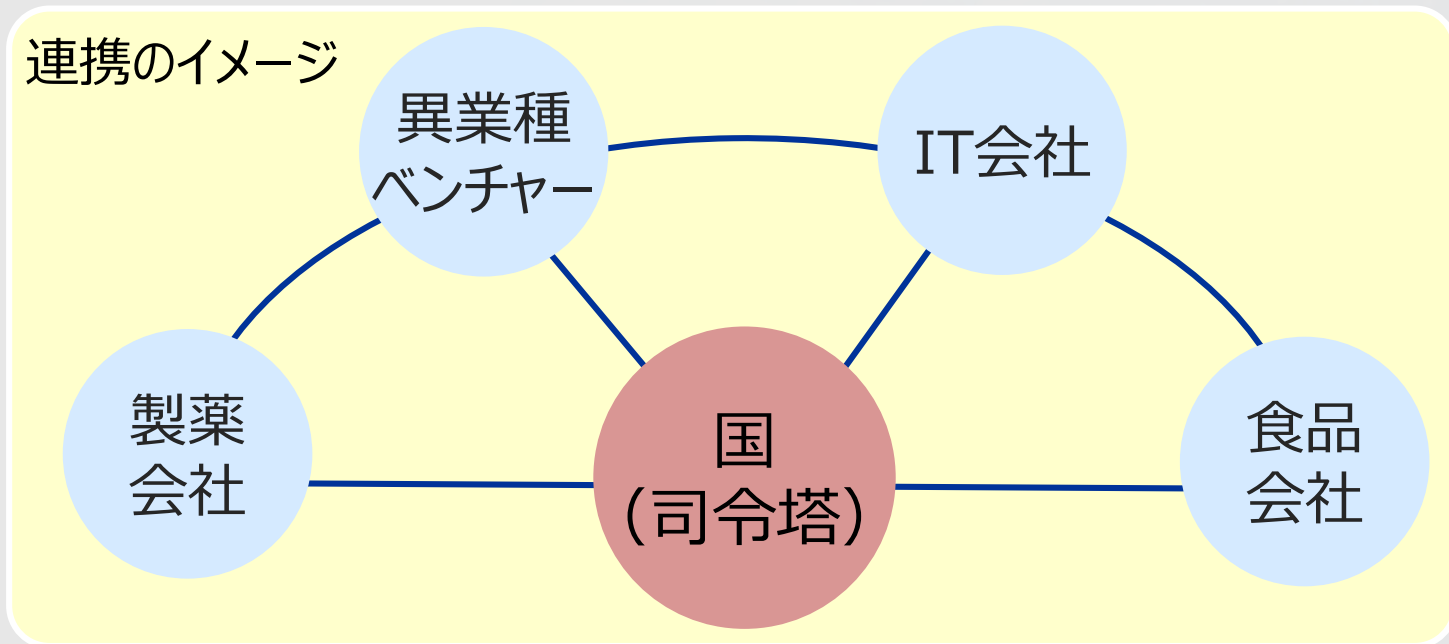


※ ライフ インテリジェンス コンソーシアム(LINC)も1つの例として推進する



異業種を含めた産官学の協働により、戦略策定、インフラ整備、アルゴリズム開発を推進することで、創薬研究の大幅なスピードアップ、確率向上、コスト削減が実現

## II-3. デジタルヘルス、予防・先制医療等を見据えた医療周辺産業との連携支援



国主導の異業種が一体となった産官学連携が、  
技術革新の創造やビジネスモデルの再構築に貢献

国が司令塔となり、患者さんと社会のための価値創造に向けて、  
戦略やアクションプランを策定し、産官学連携を牽引する事が必要

## Ⅲ. まとめ

製薬産業は、グローバルでの競争力を有した医薬・医療イノベーションの創出環境構築に向けて、これまで以上に積極的に参画し、世界に通じる新薬を創出することで、患者さんをはじめ社会からの要請に応えていく

世界に届ける創薬イノベーション



製薬協